

付録5－性暴力173事例を表にまとめたもの

番号	被害女性の数	強かんのあった日付	被害女性の年齢	被害女性が18歳以下だった場合の年齢	出身地(郡、村落区、村)	被害にあった状況	加害者の所属先/軍隊の詳細	被害の詳細	とられた法的措置	その他
1	1	1991.3.8	19		Murng Sart 郡、La-Hu 村	ビデオ上映会から農村地域を通過して村への帰り道で。	Murng Start 郡第3拠点第49歩兵大隊の兵士1人	強かん	なし	家族や友人から非難された。
2	1	1991.6.17		17	Murng Pan 郡、Nar Worn 村落区、Nong Lom 村	畑からの帰り道、兵士たちにジャングルに連れ込まれた。	第332軽歩兵大隊第4中隊Maung Maung Soe 隊長	4昼夜にわたって強かん	なし	病院に2晩入院
3	1	92.5	26		Murng Sart 郡、La-Hu 村	ジャングルにある山小屋で水牛や牛の世話をしていたとき。	Murng Start 郡第333軽歩兵大隊の兵士1人	強かん	なし	強かんされたことにより、夫や子どもからの拒否
4	2	1992.8.24	38	16	Larng Kher 郡、Wan Jid 村落区、Nam Nor 村	さとうきび畑で作業をしていたとき。	Maung Soe 隊長に率いられた4人の国軍兵士	4人の兵士が母親を強かんし、隊長は娘を強かんした	夫が4、5日後村長に報告したが、行動を起こすには遅すぎると言われた。	兵士たちはさとうきびも盗んでいった

5	1	1994.7	22		Murug Nai 郡、Mai Hai 村落区、Na Bang Pai村	田んぼで働いて いたとき、小 さな小屋で休 憩していたと き。	Soe maung Nyo 上官に率いられた 第64歩兵大隊第2 中隊の4人の国軍 兵士	娘は銃をつきつ けられながら集団 強かんされ、母親 は気絶するまで 殴られた	村長に報告後、村長 は村落区長に訴えると 約束したが何も動きが なかった。	5人の国軍兵士はカラ スウリとカボチャを盗 んでいった
6	2	1996.12.20	18、25		Namzarn 郡、Mak Mong Mon 村落区、 Mong Pawk 村	行商用シャン 風菓子を作る ために町に砂 糖を買いに歩 いていついてい るとき、森の近く で。	Khin Maung軍曹 に率いられた第66 歩兵大隊の3人の 国軍兵士	集団強かん	両親と村長は大隊指 揮官へ訴えたが、指 揮官はKhin Maung軍 曹はだいぶ前に移動 になったと言い、村長 を殴り、5,000チャット の罰金を科した	
7	1	1996.12.20		15	Loilem郡、 Pang Long 町	畑から干草を 牛車で運んで いたとき、森の 中の町から数 百ヤード離れた ところで、	国軍兵士	集団強かん	加害者を見つけられ なかったため訴追取り やめになった	
8	4	1996.12.21	18、20 、22	17	Ke See郡、 Murang Yai 村落区にあ る強制移住 させられる 前の古い町	米をとりにその ふるい町に帰 らざるをえな かった	Kyaw Khaung少 佐に率いられた第 64歩兵大隊の80 人の国軍兵士た ち	Kyaw Khaung少 佐は17歳の少女 を強かん、他の3 人の女性たちは 他の軍曹や兵士 らにより集団強かん		
9	1	1996.12.29	22		Keng Tawng地 域、Ton Hoongの西 部にある Kun Khoi村	村にある家に1 人でいたとき	Aung Zaw大尉に 率いられた第99 歩兵大隊	強かん	拠点の指揮官である He大尉に訴えたが、 強かんの加害を否定 し、訴えたものに罰金 として牛と豚1匹ずつと 3,000チャット科した	

10	2	1996.12.31		16、17	Kun Hing 郡、Nar Mon 村落区、強制移住させられる前の古い村 Nong Kham 村	強制移住前に住んでいた古い村で牛車用の水牛を探していたとき	第64歩兵大隊の国軍兵士100人、Khin Than Aye 指揮官	指揮官は2人の少女を強かんし、兵士たちは食料用に水牛を殺した		その後、この隊は全ての村の家を焼き払った
11	1	1997.1.11	22		Nam Zarng 郡、Kho Lam 村	村の東にある道路沿いの草むらを強制的に掃除させられていたとき	Nam Zarng 拠点の第66歩兵大隊 Sein Win 軍曹	騒ぐと撃つと脅しながら強かん		
12	1	1997.1.18	18		Nam Zarng 郡、Kho Lam 村落区、Wan Phui 村	村にある家にいたとき	Nam Zarng 拠点の第99歩兵大隊 Than Than 大尉	兵士たちは父親に立ち退きを命じ、娘を強かん		村全体が強制立ち退きを命じられた
13	6	1997.3.28	18、19、24、23、20、30		Nam Zarng 郡、Kho Lam 村落区、Wan Phui 村	村の中で	第246歩兵大隊 Saw Win 少佐率いる国軍兵士100名	6名の女性全員を強かん後殺害。この6名の女性は SURA (シャン解放軍) の妻であると告発。		村全体が強制立ち退きを命じられた
14	2	1997.3.30			Lai-Kha 郡、Nawng Kaw 村落区 Nawng Kaw 村	Palawng に住む人びとに米を売るために牛車に乗って森に向かっていたとき	Kho Lam に基地の拠点がある国軍兵士15人	強かんされ射殺		2歳の子どもが森に置き去りにされ、2頭の水牛は食料として Kho Lam に連れて行かれた。

15	1	1997.3.30		12	Lai-Kha郡、Nawng Kaw村落区、Nawng Kaw村	干草を牛に食べさせるために牧場に持っていったとき	Kho Lamに基地の拠点がある国軍兵士	強かんされ射殺		強かんされた女性の親戚は女性の遺体を埋める許可を得ようとしたとき、兵士たちは「シャン州の人びとの見せしめにこうなったんだ。彼女を埋めたいならば、一緒に死ね」と言った。
16	7	1997			Kun Hing郡、Kaeng Kham村落区、Sop Sim村	村中の男たちが外出した夜、家で	Spo Sim村に駐留するHla Phyu軍曹率いる第519軽歩兵大隊の国軍兵士の集団	7世帯で妻を強かん		
17	1	97.3		10代	Lai Kha郡、Wan Zae村落区、Mark Kawk村	Laikha強制移住先に移動途中	国軍兵士	強かんされ殺された。父親は拷問された		村は強制移住させられた。兵士たちは父親を縛り上げ、小屋の柱にぶら下げるとその下で火を焚き父親を火あぶりにした。数日後父親は死亡。母親は娘への強かんと夫への拷問を目撃した母親は精神的に不安定になった。
18	1	1997.4.1		16	Kun Hing郡、Wan Lao村	村にある家にいたとき	Kun Hing基地拠点の第424軽歩兵大隊のMaung Kyaw Tun少佐	強かん	村長や村の住民は少佐に詰め寄ったが、少佐は否定し、少女を意識が無くなるまで殴った。偽りの訴えということで両親に10,000	

									チャットの罰金を科した。	
19	4	1997.4.2	18、22、25	16	Kun Hing 郡、Ho Yarn 村落区、Nong Kham 村		Kun Hing基地拠点のMyint Lwin 少佐率いる第424 軽歩兵大隊の国軍兵士26人	集団強かん		村は焼き払われ、強制移住させられた。
20	1	1997.4.6	18		Murug Sart 郡、Waeng Nur村	村にある家にいたとき	Aung Lwin少佐率いる第45歩兵大隊	強かんし顔が腫上がるまで殴った。	村長に訴えたが何もできなかった。	
21	1	1997.4.14			Lai Kha郡、Wan Warn 村	小型トラクターに乗っていたとき	国軍兵士	強かんし焼き殺した		地元の住民が遺体の一部を見つけた。
22	2	1997.4.18			Nam Zarng 郡、Kho Lam村落区、Nawng Hai村	村への帰り道	(Arakan州から移された)第378軽歩兵大隊の大尉と3人の兵士	女性を強かんし、男性を殴打の後、胸、首、腹を刺して殺した。		その地域のシャン抵抗運動について男に尋ねた
23	2	1997.4.20			Murug Nai 郡、Nar Khan村落区、Pa Lai 村	村にある家で	Lai Kha拠点のKhin Than Aye少佐率いる第64歩兵大隊の国軍兵士50名	少佐は娘を強かんし、他の兵士は娘の母親を強かん、父親を意識がなくなるまで殴った。		村は強制移住させられた。
24	1	1997.4	21		Murug Sart 郡、La-Hu 村	村にある家で寝ていたとき	Murug Sart基地拠点の迫撃砲兵大隊1人	強かん	拠点の指揮官が加害兵士を殴って牢屋に入れた。	

25	1	1997.5.3	18		Kun Hing 郡、Kaeng Kham 村落区、Woe Long 村	Kun Hing 強制移住先から元住んでいた Woe Long 村に置いてきた荷物を取りに戻ってきたとき。	Than Oo 少佐率いる Kun Hing 拠点の第44歩兵大隊の50人の国軍兵士	強かんされ殺害された。父親は一昼夜縛られていた。		
26	2	1997.6.3	28、40		Lai Kha 郡、Ter Leng 村	ベッドの下に埋めていた金を取りに村に戻ってきたとき	Laikha から35人のポーターと36台の牛車を連れて、Mying Than 少佐率いる第424軽歩兵大隊の国軍兵士	強かんされ殺害された		鉄、木材、家畜を盗まれ、36世帯の家を焼きはらわれた。
27	2	1997.6.6	29		Murng Kerng 郡	地域の軍事拠点がある、Murngton 郡 Wan Nar 村に歩いているとき。	Min Sein 指揮官率いる第519軽歩兵大隊	盗難にあい強かんされ殺害された。父親は撲殺された。		
28	7	1997.6.8	18、19、21、22、27、38	17	Murng Nai 郡、Ton Hoong 村落区(強制移住先)、Ter Hung 村	Kaeng Tawng 地域から Murng Pan に軍隊の荷物を持ち運ぶために強制労働をさせられていたとき。	Murng Pan 拠点の Than Maung 少佐率いる第520軽歩兵大隊の国軍兵士	夜通し集団強かん。歩けなくなる女性もいた。村長はその後撲殺された。		村は強制移住させられた。

29	43	1997.7.1			Kun Hing 郡、Kaeng Lom 村落区、Waeng Kham、Kun Mi、Wo Long、Nar Taw、Wan Parng、Ho Ha、Nar Poi、Karng Nar、Nar Yao、Son Sarng、Nar Khar Awn、Nar Khar Long 村	強制移住させられる前に住んでいた村に置いてきた所有物を取りに帰ってきていたとき。全て捕まりKun Mi村に集められた。	Kaeng Lom 地域を物色していた Htun Mya 少佐率いる第524軽歩兵大隊の兵士250人	3、4日間、昼夜問わず強かんされ殺害された。		43名の女性、53名の男性が殴られ、拷問され、シャン兵士へ情報や食料を提供しているのではないかと尋問を受け、責められた。2、3日後兵士たちはビニール袋を人々の頭にかぶせ窒息死させた。その後遺体はNam Parng川に捨てられた。
30	2	1997.8.10	32、36		Nam Zarng 郡Kho Lam 村落区	女性2人がシャン軍の隊員の妻であることを罪に問われた。	第246歩兵大隊(Too Nyeing 少佐)所属の兵士80人	5日連続で繰り返し強かんされ、誰にも言わないよう、言えば懲役6か月だと脅された。		同じグループの4人の村人男性がシャン軍に食糧を与えて支援したことを罪に問われ、Kho Lamの軍事基地に連れて行かれる。尋問されている間殴打され、拷問を受け、最後には頭部と顔にビニールを被され、窒息死させられた。

31	11	1997.9.6	18	15	Murug Paeng郡 Murug Poo Awn村落区 Huay Kharn村	軍がすべての村人を集め、その中から11人の若い女性を選出した。	第43歩兵大隊(Ohn Myint大尉)の所属の兵士60人がHuay Karn村を略奪。	強かんされ、略奪され、殴打され、焼き討ちにあった。		村の長がシャン軍について尋問され、殴打されて意識を失った。強制移住させられる間に貴重品は略奪され、37戸の家が焼き討ちにあった。
32	42	1997.9.15			Kun Hing郡 森に隠れていた。	街へ移住することを拒み、森の中にとどまっていた。	第524軽歩兵大隊(Htun Mya大尉)所属の兵士120人	2日2晩集団強かんが行われ、それから殺された。		村人全員(57人の男性と42人の女性)が殺された。
33	1	1997.9.26	18		Murug Ton郡 Huay Sai村落区 Pha Khe村	数人の子どもたちとともに村の自分の家にいた。	Murug Tonを拠点にする第277歩兵大隊(Khin Maung Nyunt大尉)所属の兵士	一晩中強かんを行った。	指揮官であるAye Thant大佐に提訴がなされた。被害者は一列に並んだ隊員を見せられたがその中に被告人はいなかった。被害者が被告の身元確認をできなかったため、軍を「中傷した」として15,000チャットの罰金を科せられた。	

34	4	1997.10.3			Murug Kerug郡 Murug Khun村落 区 Nam Tao 村、Nar Mark Zaw 村、Wan Tab村、Wan Nar Huay 村、Wan Mark Man 村	以前滞在して いた村へ自分 たちの所有物 を探すために 戻っていた。	第515歩兵大隊(Maung Maung Htwe指揮官)所 属の兵士80人	3日2晩にわたり 軍によって強かん が行われた。村 人男性は射殺さ れた。		強制移住の間、57戸 の家が焼き討ちに あった。
35	20人以 上	1997.10.3-4		14から 15	Waeng Nur 村 Murug Sart	村の若い男た ちは強制移住 地に家族や所 持品を移動さ せる前にシェ ルターを建て て行った。その 間女性と老人 たちは村に残 されていた。	Murug Sartを拠 点とする第333 軽歩兵大隊所属 の兵士25人。シャ ン軍に変装してい たがビルマの銃器 を所持。	強制移住する間 に強かんされた。	軍事基地で第333軽 歩兵大隊の指揮官に 提訴がなされた。 被害者は整列した80 人の兵士を見せられ たが、被告人はその 中にいなかった。 被害者は罰金を払わ ずにすむよう、しきりに 謝罪した。	強制移住している間 のことであった。
36	5	1997.10.12	18、19 、20、 25	17	Murug Pan 郡 Mai Heo Lao村 (1997年8月 20日以来強 制移住させ	食糧と緑黄色 野菜を求めて もとの村へ戻っ た。	第277軽歩兵大隊 (Aye Thant少佐) 所属の兵士	3日間1人ずつ強 かんされ、1人 2000チャットの身 代金と引き換えに 解放された。		再定住した村人たち はシャン軍の妻であ ることを罪に問われ た。

					られていた。)					
37	4	1997.11.18	18、20、26	12	Kun Hing 郡 Kung Sa村	Kung Saの村人のいなくなった村へ米や稲を取りに戻った。	第246歩兵大隊所属の兵士100人と、第524軽歩兵大隊所属の兵士250人	3人が強かんされ、殺された。1人は強かんされ、負傷した。		2人の男性も射殺された。
38	1	1997.11.23			Loi-Lem郡 Pang Long 村落区 Hai Narng 村付近の Mai Hong Sarm Ton	Mai Hong Sarm Tonと呼ばれる場所	Pang Longを拠点とする、第513軽歩兵大隊(Kooma少佐)所属の兵士	集団強かんされ、殺された。	SPDC軍は警察を呼び、遺体を見せ、女性の死体を見つけたと言った。警察は写真を撮った。	
39	5	1997.11.27	18、19、20、30		Wan Parng 村かMurng Nawngの再定住地に強制移動させられた。	Wan-Parng付近の水田にある小屋で休憩していた。強制移住後にかつての水田に合法的に戻ってきていた。	第524軽歩兵大隊(Htun Mya指揮官)所属の兵士120人。20人のポーターと5頭の馬を伴って来た。	全兵士によって夕方まで強かんされ、殺された。		1人の女性は民族の長の助けを借りて逃げた。
40	1	1997.12.26	18		Murng Ton 郡 Wan Sar Lar村	村の自分の家にいた。	Murng Tonを拠点とする第225軽歩兵大隊(Aung Zaw大尉)所属の兵士3人	2時間強かんされた。		家は略奪され、両親は覚醒剤を売ったとして不実の罪に問われ、500チャットの罰金を科された。
41	7	1998.1.18	18、20、40、42	16、17、17	Murng Pan 郡	稲作のための土地を確保するため森林を開拓していた。	第66歩兵大隊(Htun Myint前指揮官)所属の兵士	指揮官とその上官が女性を強かんし、4人の男性		森を破壊したとして被害者は1人2000チャットの罰金を科せられた。

					Ho Lin村の 3マイル北の 田舎			を2日2晩木に縛 りつけた。		
42	4	1998.1.20	18、20 、22	17	Murng Nai 郡 Zarng郡 Larng Khur 郡 Murng Pan 郡	Ta Sarng(Ta-Sar-Lar)の Salween川を 横断し、タイで の出稼ぎから 戻ってきた。	Aung Myint上官 の指揮する兵士	強制労働させら れ、強かんされ た。		
43	1	1998.1.28		17	Murng Kerng郡 Nam Pa Luk村落区 Mawk Zarm 村	村で自宅に1 人でいた。	Lai Khaを拠点と する、第515軽歩 兵大隊(Soe Hpyu少佐)所属 の兵士115人	強かんされ、射殺 された。父親と親 戚も射殺された。 家は焼き討ちされ た。		父親は薪で少佐を殴 打し、倒して意識を失 わせたあと、射殺され た。家は略奪され、貴 重品は盗まれた。村 は移住するよう命じら れた。村長の家には 火がつけられた。
44	1	1998.2.1	18		Murng Sart 市	村の自宅の キッチンにい た。	Murng Sartを拠 点とする第49歩兵 大隊(Han Sein大 尉)所属の兵士3 人	強かんされた。	第40歩兵大隊のMyo Thant指揮官に提訴し たが、Han Sein大尉 がこれを否定し、懲罰 が下る前に別の土地 に転任されていた。	
45	2	1998.4.19	24、35		Murng Kerng郡 Ham Ngai 村落区 Nar Mon村 Wan Pek村	Huay Kyawng にいた。	第513歩兵大隊所 属の兵士	強かんされ、殺さ れた。		

46	2	1998.5.3	30、29		Nar MonとWan Pekの古い村からMurng Kerng郡のHam Ngai再定住地に強制的に移住させられる。	1人の女性は自分のオレンジ果樹園を目指してもとの村へ戻り、もう1人の女性とその妹は食べる米がないためサツマイモをとりにもとの村へ戻っていた。	第9歩兵大隊所属の兵士のグループ	1人の女性は強かんされ、胸を6回刺されてどぶに投げ捨てられ、泥と小枝で覆い隠された。もう1人の女性は強かんされ、胸を4回刺されて殺され、地中浅くに埋められた。		
47	1	1998.5.11		14	Lai Kha町の移住地へと強制的に移動させたあとのNawng Zem村	Lai Khaから3～4マイル東にある農場小屋にいた。	第442軽歩兵大隊(Myint Than少佐)所属の85～90人の兵士	強かんされ、焼き殺された。		両親と1人の村人は縛り上げられ、森に置き去りにされた。母親は悲嘆に暮れて亡くなった。
48	4	1998.5.18	20	16、16、17	Na Loi村Wan Loi村	Ta Sang付近のMurng Naiからもどるところだった。	Ta Sang付近の第225歩兵大隊(Tin Aung上官)所属の兵士	強かんされ、手足を切断され、胸を切り落とされて殺された。		被害者は移民労働者への締め付けが厳しくなったためタイから戻ってきていた。
49	1	1998.6.6	30		Nam Zarng郡Kho Lam	Kho Lamの4マイル西にある農場にいた。	第246歩兵大隊(Tu Nyein少佐)所属の兵士80～90人	集団強かんされ、射殺された。		強制移住させられた村人たちはもとの農場に戻る許可を得た。許可を得ていたにも関わらず、8人の村人はそれぞれの家族が1人につき15,000チャット支払うまで9日間拘束された。

50	1	1998.6	25		Kun Hing再定住地に強制移住させられた Kaeng Lom	甥とともに農場から帰るところで、町の入り口付近にいた。	第246軽歩兵大隊と第524軽歩兵大隊所属の兵士4人	集団強かんされた。		
51	2	1998.6.25～8.10	18、20		Lai Kha郡 Phawng Seng村落区 村人が去ったあとのLoi村	軍に連行され、村人が去ったあとの村の近くの農場で働いていた。	第517軽歩兵大隊所属の兵士	1998年8月10日まで繰り返し強かんされた。1人は亡くなり、1人は正気を失いジャングルに捨てられた。		7人の他の村人は整列させられ尋問され、何人かが意識を失うまで殴打された。2人の女性はシャン軍兵士の妻であることを罪に問われた。
52	3	1998.7.14～15	25、27、36		Murng Nai郡 Nar Karn村	村の外れの農場にいくところだった。	第524軽歩兵大隊(Khin Hla Win指揮官)所属の兵士12人	集団強かんされ、殺された。		2人の女性に付き添っていた男性も殺された。遺体は道路付近に積み上げられた。
53	1	1998.7.16	29		Murng Ton郡 La-Hu村	農場での仕事から家に戻る途中だった。	Murng Tonを拠点とする兵士1人	強かんされた。		
54	1	1998.7.17	28		Lai Kha町の最端地区	町の自宅にいた。	Lai Khaを拠点とする第515軽歩兵大隊(Han Aung指揮官)所属の兵士50人	強かんされ射殺された。夫は脅迫された。	第515軽歩兵大隊のSoe Phyu指揮官に提訴がなされたが、Soe指揮官はHan Aung指揮官は3日前に軍事作戦に送られており、まだ戻っていないと主張した。被告人は遠方の前哨基地に配属されていた。被害者の	

									夫は報復を恐れてタイに逃亡した。	
55	1	1998.7.18	24		Nam Kham 郡Mung Wee村	村で。	Nam Kham郡上官、Ant Maw大尉	強かん	Ant Maw大尉は東北司令部の指揮官に尋問されると言われたが懲罰は課せられなかった。	
56	1	1998.7.25		16	Lai Kha郡Phawng Seng村落区Zaet Lawk村		第515軽歩兵大隊所属の兵士	意識を失うまで1時間強かんされた。		
57	1	1998.7.27		13	Lai Kha郡Phawng Seng村落区Phawng Seng村		第515軽歩兵大隊所属の兵士	失神するまで強かんされた。		
58	2	1998.8.1		14、14	Lai Kha郡Sa Nin村落区Zaet Lawk村	人影のない空家に連れ去られ閉じ込められた。	第515軽歩兵大隊(Thein Aung指揮)所属の兵士	動けなくなるほどまでに強かんされた。被害者は自分で動くことも立ち上がることも、頭を持ち上げることすらできなかった。		両親は娘を守ろうとして銃底で殴られた。

59	5	1998.8.10	19、24、32、36、49		Kun Hing郡	Kun Hingの4マイル東にある畑へ行く途中だった。	第524軽歩兵大隊 (Kin Maung指揮) 所属の兵士約50-60名	強かんされた。		女性4人を一晩中強かんする間、その他の男女を別々の場所に閉じ込めた。翌朝、指揮官は9人の村人を皆集め、一列に立たせた後、指揮官とその部隊がその場所に来たことを誰にも言うてはならない、話した者には部下を送り殺させると告げた。
60	1	1998.8.14		14	Nam Tu郡 Wan Parnng村 Murng Yaen村	被害者は足に軽度の障害があり正常に歩くことができない。事件当日、彼女はMurng Yaen村の中学校で授業を受けていたが、生理のために気分が悪くなり、Wan Parnng村の自宅へ帰る途中だった。	第324軽歩兵大隊所属Naing Htay伍長	強かんされた。	原告はMurng Yaen陸軍基地指揮官兼第324軽歩兵大隊副指揮官のNe Win少佐に告訴した。シャン州民族軍(停戦を合意したグループ)の准将指揮官の圧力で、少佐は面通しを行うことを承知した。被害者が人物を特定したにも関わらず、以降何の進展も見られない。	

61	1	1998.8.19		17	Murung Ton 郡Me Ken 村落区Nar Pa Kao村	Nar Pa Kao村 の西にある森 で薪を集めて いた。村より1 マイル西にある 農作業小屋に いたとき。	58名の兵士、 Shwe Nyunt大 尉、Murung Ton基 地第65歩兵隊大 隊第2中隊の指揮 官	3時間強かんされ た。	原告はShwe Myint (aka) Hla Myint中佐 兼第65歩兵大隊指揮 官に告訴した。中佐は 村人5人に強かんの現 場を目的したか尋問 し、村人がそれを否定 すると、軍を中傷した ものとして被害者に対 して5,000チャット、村 人に一人2,000チャット の罰金を課した。	
62	1	1998.9.27		17	Murung Pan 郡Ho Lin村 落区Wor Tawng村	一家は人里離 れた村で米、 大豆畑の手入 れをしながらさ びれた家一晚 を過ごしてい た。	第520軽歩兵隊大 隊(Maung Ong少 佐指揮)所属の兵 士約80-90名	強かんされ、撃ち 殺された。兄弟と 両親は尋問され 射殺された。		兵士は米、唐辛子、 塩、大豆を盗んだ。
63	1	1998.9.27-28	26		Kaeng Lom 村よりKun Hing町の強 制移住地へ	町より2.5マイ ル離れた Kaeng Lom郡 Mark Larng村 の畑に行く途 中だった。住 人のいない Kaeng Kham 村で。	第246軽歩兵隊大 隊(Myint Oo指 揮)所属の兵士	集団強かんされ た。	Myint Ooに訴えた が、告訴を退けられ た。コミュニティー リーダーが軍を中傷した 罪で逮捕され、保釈の ために計60,000チャッ トを払わせられた。	

64	1	1998.10.14	36		Nar Poi 村落区Nam Hoo村よりNam Zarng 郡Mark Mong Mon 村落区Mark Mong Pawk村へ強制移住	農作業のためMark Mong Pawk村の強制移住地より東3マイルにある畑で幾晩か過ごしていた。	第22歩兵隊大隊(Than Nyunt指揮)所属の兵士30名	強かん、強奪、殴打された。妊娠7ヶ月の妹(姉)は殴殺された。		被害者はシャン軍兵士の妻であることを責められた。兵士は女性が妊娠していることに気づき、子宮を棒で突いた。病院のスタッフには損傷の原因については嘘をついたほうがいいとアドバイスされた。
65	1	1998.10.14-17	21		Kun Hing郡Long Maw 村	人影のない村はずれの田で米を収穫するところだった。	Kun Hing基地の兵士(Aung Kin大尉指揮)	強かんされた。村人4人とポーター2人が殺された。		
66	1	1998.10.19		17	Murug Yarng郡Wan Nam村	村外のNam Yarng川で一人で洗濯をしていた。	Sein Win大尉率いる第227歩兵隊大隊第1中隊所属の兵士Maung Kyi、Than Htaikの2名	強かんされた。出血していたが放っておかれ、1週間ほど歩くことができなかった。		
67	4	1998.10.19-21	18、20、22、26		Kun Hing郡Kaeng Lom 村とHo Yarn 村	Kun Hingより3マイル北にある畑で作業していた。	Kun Hing基地の兵士(Htn Maung大尉指揮)	兵士にマッサージを強要され、一晩中強かんされた。被害者2人の夫と村人1人が射殺された。		

68	2	1998.10.22	18	16	Murng Yawng郡 Murng Yu村	村外のNam Luay川の川岸で野草を摘んでいた。	第334軽歩兵隊大隊(Kyagyi伍長指揮)所属の兵士5名、Nam Luay川の橋に駐留する第3中隊(San Myint大尉指揮)所属の兵士30名	被害者2人とも出血するまで集団強かんされた。	第334軽歩兵隊大隊本部に届け出たが、何ら対応は取られていない。	
69	1	1998.11.21	25		Murng Ton郡Nar Khong Mue村	自宅で。夫はポーターとしてSPDCに徴収されていた。	第225軽歩兵大隊所属の兵士Maung Win、U Kyawの2名	銃口を突きつけられ強かんされた。		
70	1	1998.12.10	19		Kae See郡Wan Zard村落区Nawng Kaw村	村からすぐのところにある菜園で水をやっていた。農作業小屋にいたとき。	第424軽歩兵隊大隊、Soe Hlaing大尉	強かん、頭を重い棒で殴打、強奪、殺害された。	Soe Hlaing大尉が家を出るのを見たとき村長が町のコミュニティリーダーに報告した。これを聞き、大尉とその部下の兵士が村長を逮捕し、殴打、拷問し殺害した。大尉らは村長の自宅で携帯用無線電話機を発見したと述べた。	
71	6	1999.1.1	22、27、30、31、33	15	Nam Zarng郡 Nawng Kaw村落区Wan Ek村とWan Wawn村	田から村まで天秤で米を運んでいた。	第66歩兵隊大隊(Myint Sein指揮)所属の兵士約70-80名	少女1人は強かん、射殺され、他の5人は1時間強かんされた。ポーター1人が射殺された。		シャン軍兵士を支援していると責められた。

72	2	1999.1.10		16,17	Murng Start 郡Murng In 村	村から近い Nam In川の岸 辺付近で薪を 集めていた。	第333軽歩兵隊大 隊(Maung Maung大尉指揮) 所属の兵士	強かんされた。	Murng Sartのビルマ 軍 当局に届け出た。	
73	14	1999.1.17	18、19 、20、 21、22 、23、 23、24 、40、 40、41 、41、 42、44		Ho Pong郡 Huay He村 落区Tawng Seng村	男性11名、女 性14名は田か ら村へ天秤で 米を運んでい た。	Loi-Lem内Murng Pawn基地(Aung Mya指揮)所属の 兵士	強かんされた。少 女1人は解放され たが、男性11名、 女性13名がポー ターとして兵士に 連れ去られた。う ち3-4名は殺さ れ、その他は行 方不明。		シャン軍兵士を支援 していると責められ た。
74	1	1999.1.24		16	Kawng Yaao村より Nam Zarng 郡Wan Nawng Kung Mong 村落区へ強 制移住	強制移住地内 の自宅で。一 人だった。	第66歩兵隊大隊 所属Than Kyaw 大尉	銃口を突きつけら れ、強かん、強奪 された。		今後も起こりえる虐待 から免れるためタイへ 逃げた。
75	5	1999.1.27	18、28 、35、 36、42		Kun Hing 郡Ka Li, Nam Pa Man村	Kun Hing郡 Kaeng Lom地 域の畑で男 性、女性一緒 に一団で仕事 をしていた。	第246軽歩兵隊大 隊(Aung Shein少 佐指揮)所属の兵 士50名	強かん、強奪され た。男性はポー ターとして連れ去 られた。		ポーターとして連れ 去れられた男性は 行方不明。

76	1	1999.2.	40		Tam Yaung 村より Murng Kyaut町へ 強制移住	丘の中腹で、 一人で作業を していた。	兵士3名	ナイフを突きつけ られ、集団強かん された。	村長に報告されたが、 村長から官憲に届け 出はされなかった。そ の後何ら対応は取ら れていない。	被害者は事件後アヘ ン中毒になり、世話が できないためよその 家族へ幼い子供を やった。
77	1	1999.3.4	19		Kaeng Tung 郡 Murng Laang村落 区Wan Ten 村	村近くの森で 薪を集めてい た。	第314軽歩兵隊大 隊所属Lt Kyaw Soe	強かんされた。	村長に報告されたが、 村長から軍政当局に 届け出はされなかつ た。	
78	2	1999.4.10	19, 37		Kung Hing 郡Kun Mong村	被害者の2人 はKun Mongよ り北3マイル、 Kaeng Tawng とKun Hingの 間、Kun Nyawng村近く の畑へ出掛け るところだっ た。	Murng Nai基地 第422軽歩兵隊大 隊第1中隊(Maj Khin、Maung Lay 指揮)所属の兵士 25名	母、娘とも集団強 かんされ殺され た。		シャン軍兵士を支援 していると責められ た。
79	1	1999.4.13		17	Murng sart 郡 Murng Poo 地域 Murng In村	少女は友人2 人と共に彼女 達の村の近く を流れるNam In川の川岸に 沿って野菜採 集をしていた。	Murng Sartを拠 点とする第527軽 歩兵大隊の兵士7 名	強かん及び殺害		
80	15	1999.5.21	48まで	13から	Kan See郡 Nai Lao、 Loi Hong村 その後Pan	こっそりと村を 抜け出し、売っ て金を得るた めに茶葉を採 取していた。	第64歩兵大隊、 第513、514、515 軽歩兵大隊の兵 士80名	強かん、スティック で彼女達の背中 や脚を殴打		

					Longへ強制移住					
81	4	1999.5.22	20、25、45、49		Kae See 郡 Wan Heng 村落区 Wan Tong 村その後 Kae See へ強制移住	4組の夫婦が1999年4月初旬あたりから Kae See から3.5マイルほど離れた彼らの水田で農作業していた。	Sein Win 隊長が指揮する第514軽歩兵大隊の兵士50名	3夜連続の強かん、3日間の軍収容施設での監禁		彼らの収穫した作物は返してもらえた。隊長は彼らの許可証を無視。収容された女性の夫たちが1000チャットの身代金を支払うまで女性たちを解放しなかった。のちに、彼らはタイとの国境へ逃れた。
82	3	1999.5.24	18、22	16	Nam Zarng 郡 Nawng Hee 村落区 Wan Paang 村から強制移住させられた	彼女たちは町から3.5マイル離れた水田で農作業していた	Tha Aye 指揮する第247軽歩兵大隊第4中隊の兵士50名	集団強かん、体中が傷つくまでの平手打ちや殴打。少女一人を殺害	村長は両親に告訴しないよう助言した。	
83	4	1999.5.29	18、20、22	16	Naa Poi 村落区 Nam Kham 村から Kun Hing 町のはずれに強制移住させられた	Kaeng Lom 地区にある彼女達の農場で両親たちと共に農作業をしていた。	Kun Hing を拠点とする第246軽歩兵大隊、Soe Naing Oo 隊長、Tin Maung Win 隊長、Than Naing Oo 隊長が指揮する Loi Lem を拠点とする第12歩兵大隊の兵士	集団強かん及び殺害		兵士たちは彼女たちと両親を引き離し、彼女たちを別の場所へと連れて行き、部隊の別のグループが集団で強かんし、彼女たち全員を殺害した。

84	4	1999.6.29	19、27、47	15、17	Wan Phui村落区Naa Pung村からMurng Kerngのはずれに強制移住	村民たちはMurng Kerngの西部から3.5マイルほど離れた水田やゴマ畑で働いていた。	Win Naing 隊長が指揮する第524軽歩兵大隊の兵士35名	強かん及び拷問	<p>村長や村議会委員たちは第524軽歩兵大隊の基地に行つてAung Win指揮官に訴えを申し入れた。指揮官は70人の兵士を並べて事情聴取を行ったが、Win Naing隊長はわざと除かれていた。村長と村議会委員は軍への中傷を理由に告訴され、軍基地の収容所へ留置された。村長は意識がなくなるまでこん棒で殴打された。彼らの家族は彼らの解放に対して2000チャットの支払いを命じられ、一人の少女も含めた殴打や強かんの被害者の残りにそれぞれ500チャットの罰金が課せられた。</p>	<p>兵士は2人の男性と5人の女性と検挙し、男性と女性を分離し、男性を縛り付け、拷問や殴打しながら、シャン兵について尋問した。そして、軍兵は4人の若い女性を強かんした。隊長はその中で一番若い女性を自分のもとへ連れていき、他の3人を自分の上官へ渡した。1人の少女は大変おびえていたので、泣き叫び、もがいていたが、隊長は彼女の頭にピストルを撃ち、彼女の頭皮が割れ、頭蓋骨が破損した。</p>
----	---	-----------	----------	-------	--	---	----------------------------------	---------	---	---

85	1	1999.7.7		16	Wan Thi村 落区Tawng Heo村から Lai Khaに 強制移住	町から約1マイルほど離れた菜園の手入れをしていた	第515軽歩兵大隊の兵士2名	強かん	彼女の両親や村のリーダーが軍政当局に訴えに出た。当局の指揮官であるSaw Hpyu隊長はその時彼の指揮するうちの30以上もの部隊を並ばせ、事情聴取を行ったが犯人は現れなかった。その軍政の指揮官は村のリーダーたちを軍への侮辱を試みたとして告訴され、リーダーと彼の補佐が拘束され、その保釈金として5500チャット支払うよう命じた。
86	1	1999.7.30	23		Ta Khi Laek 郡Murng Lae村落区 Naa Lao村	村の外で野菜を収穫していた	Ta Lurを拠点とする第316軽歩兵大隊の兵士2名	強かん	彼女の父親と村長で第316軽歩兵大隊基地の軍当局に訴えに出て、犯人に適切な指導を行うことを約束させた。

87	1	1999.9.16	30		Kaeng Kham郡 Kaeng Lom村からKun Hingに強制移住させられた	彼女とその夫は町から4マイル離れたNam Paang川の東側にある水田の手入れを行っていた。	Kyaw Aye隊長が指揮する第246歩兵大隊の兵士	強かん及び殺害		水田のわきで夫はこん棒で殴打され殺害された。妻は軍に無理やり連れて行かれ、4日間と3晩の間彼女は隊長の好きなときにいつでも強かんされた。最終日に基地に戻る前に、隊長は上官たちを1人ずつ呼び出し、1人ずつ彼女を強かんするように命じた。彼女はある兵士に渡され、その兵士は彼女を強かん後、銃剣で彼女を突き刺し、殺害した。
88	1	1999.9.18	18		Murung Khak郡 Murung Nung村落区Wan Tap村	村の外の用水路で1人で魚取りをしていた	Murung Phyakを拠点とする第227歩兵大隊のHia Tin という名の1人の兵士	強かん	両親と村長は地区議長に訴えを申し出た。彼は軍政府を恐れるあまり彼らに対して何もせず、その件に関してそれ以上の関与をあえて避けた。	その兵士は強かんする前に彼女を銃で脅した。

89	1	1999.9.21	21		Ta Khi Laek 郡Pa Leo村落区Nam Kai村	Nam Kai川の土手で竹の子を掘っていた	Nam Mae Kong 川をフェリーで渡っていたKaeng Laap村拠点の第316軽歩兵大隊第2中隊の3人の兵士(Maung Bo他2名)	彼女に対する集団強かん及びその夫の殺害	両親と親戚夫婦は数村の村長とともに第2中隊の指揮官であるAung Naing隊長のもとに訴えを申し出た。彼らはもし事件が本当ならば、犯人に対して即座に行動を起こし拘留所に入れるだろうと慰められた。しかし何も起こらなかった。	その兵士は女性に近づき、彼女をつかんだ。しかし彼女は夫に助けを求め、兵士の見えない近くの所で同じく竹の子取りをしていた夫は彼女の方へ駆けつけた。すぐに兵士は夫が来るのを見つけ、彼に向けてライフル銃を放ち、彼を即死させた。その後、兵士全員で彼女を強かんした
90	2	1999.9.22	18, 21		Wan Pae 村から移住させられたKun Hing	周辺を歩き回り、Kun Hingの農場で働いている人々に菓子を買っていた。	Than Maung隊長が指揮する第246歩兵大隊の兵士57名	強かん及び殺害		軍は彼女たちを拘束し、シャン州軍兵士の妻ではないかと尋問をしたりした。(彼女達の父親や片方の夫はビルマ軍政当局SPDCがSLORC部隊として知られている頃、1999年6月16日に起こった有名な虐殺事件の1つであるTaad Pha Hoの大虐殺で殺害されている。)軍は彼女たちを5日間パトロールに連れまわし、4晩満足がいくまで暴力や強かんを行い、結局は2人とも銃殺し、2,876チャット相当の菓子と

										彼女たちが所持していた252チャットの現金を奪った。
91	2	1999.10.8	18	17	Lai Khaにある中等学校	軍の基地でビルマ軍事政府の法律に対して疑問を投げかけていた	Lai Kha拠点のHtun Sein率いる第515軽歩兵大隊の指揮官	拘束及び留置、強かん、解放のための金の騙し取り	彼女達の解放の後、2人の少女は自分たちの苦境を両親やコミュニティリーダーや学校の校長に話し、この事件を高等機関に申し入れたいといった。しかし、校長は彼女達の間には国の政策に対してのものなので訴えが認められるかは確信が持てない。だからこの時点で最善であるのは静観することだ。そうすれば軍は静かにし続けるだろう、と言った。	6年生までの生徒が84人在籍していたLai Khaの学校での会議で、2人の生徒がビルマ政府軍は村を市場の近くに強制的に移動させている理由を尋ねた。2人の軍政府警備兵はその問いを聞き、2人の若い生徒を軍基地まで連行した。基地の指揮官は少女たちを強かんし、銃を突きつけられながら4日間ずっと強かんした。少女達は彼女達の両親がそれぞれ15,000チャットずつ支払うまで解放しなかった。
92	4	1999.10.30	30、31、38、42		Huay Awn郡Kung Pek村からMurng Kerngに強制移住させられた	4人の女性は町の西にある廃村で水田からの米の収穫からの帰りだった。	Myint Aung大尉が指揮する第514軽歩兵大隊の兵士30名	一晩中の強かん及び銃殺		軍は彼女たちにシャンへ米を供給しているとして告発した。

93	1	1999.11.11	23		Murug Khawn郡 Kaeng Tung 村落区	彼女は1人で Nam Khawn 川の土手で野 菜を洗ってい た。	Loi Muayを拠点 とする第226歩兵 大隊第2中隊の Kyaw Lwin兵	強かん	彼女の両親と村長は その部隊の指揮官で あるHtun Seinに訴え を申し入れた。彼は 「おまえたちが話して いるKyaw Lwinは昨 日町へ行かせてい た。だが、あなたの話 だと犯人は彼だとい うことになる。どうや ったら彼にそれができ ると言うのだ?おまえ たちはただ訴えが早い というだけで我々軍を 非難できやしない。家 へ戻るんだ、さもない と部下に命じてここに 閉じ込めるぞ」と言 った。村長は何もいえ なかった	
94	3	1999.11.17	18、19 、22		Murug Sart 郡Me Nim 村落区Pa Sak村	朝、町と彼女た ちの村のおよ そ中間の地点 で、町の朝市 で売るために 自生の野菜を 採集していた。	第333軽歩兵大隊 第3中隊(Thein Maung指揮官指 揮)の兵士。	3時間にわたる強 かん、顔面への 殴打、殺害の脅し		指揮官とその部下 たちは村人たちを銃 で脅し、近くの森へ 連行。男性ひとり を木に縛りつけ、女 性たちを強かん。彼 らの所持金を奪う。

95	6	1999.11.22	19、20	16歳2人、17歳2人	Sai Murng 村落区 Huay Phu 村出身。 Kun Hing郡 Ka Lai村落区へ強制移住。	町での買い物からの帰路。町とKa Laiの強制移住区との中間点。	第524軽歩兵大隊 第5中隊(Hla Aung指揮官指揮)の兵士23人。	強かん	被害者たちの両親が強制移住区の指揮官たちに訴えた。指揮官たちは、もしも自分たちが上官にこのことを報告すれば、被害者たちは計画的に真犯人を省いて並べられた兵士たちの列から強かん犯を指し示すように言われるだけだろう。もし彼女たちが犯人を指し示せなかったなら、今度は軍のイメージを汚そうとして嘘をついたということで責められ、さらにひどい目に逢うだろう、と説明した。この事件において、被害者側が勝利する道は何もなかった。	兵士たちは、彼女たちがシヤンの反抗勢力のために物資を購入したと責め、逮捕した。兵士たちは彼女らを引き離し、道路わきの森の中の別々の場所で夕方5時ごろまで繰り返して強かんを行った。彼女たちが痛みや怒りに泣き叫ぶたびに、兵士たちは彼女らの顔じゅうを傷つき腫れ上がるまで殴打した。
96	1	1999.12.7		16	Murng Ton 郡Mae Ken 村落区Naa Pa Kaao村	彼女は村の寺院で僧侶へのお布施を行った帰り道で、兵士が滞在していた村内のある家を通り過ぎようとしていた。	Kyaw Aye大尉。 Murng Ton駐在 第225歩兵大隊第5中隊指揮官。	強かん	被害者の父親が大尉に抗議すると、彼は捕らえられ激しく打たれた。村のリーダーたちはこの父親を解放するために、牛と豚を一頭ずつ差し出さなくてはならなかった。	彼女は、大尉に呼び止められ、村長に手紙を届けてほしいと言われた。手紙を預かるために室内に入った彼女は、大尉に銃で脅され強かんを受けた。

97	2	2000.1.11日	21	17	Kun Hing郡 Maeng Lom 村落区Nam Pa Man村	3人の男性と2 人の女性は、 Nam Paang河 岸の人里はな れた場所で、 密かに少量の 米とゴマを栽培 していた。	第102歩兵大隊第 2中隊(Saw Hpyu 大尉指揮)の兵士 80人から90人	強かんと射殺、農 作業小屋の焼き 払い。		男性3人は尋問のあと 拷問、殺害された。
98	1	2000.1.12		16	Murng Yarng郡Ter Laat村	彼女は、村から 離れたNam Yarng川の岸 で、一人で洗 濯をしていた。	第279歩兵大隊の Hla Myint軍曹と その部下の兵士2 人。	銃で脅し、複数に よって強かん。	彼女の両親は村長に 訴えたが、村長にはこ の事件を公にする [MSOffice] だけの勇気 がなかった。そのた め、両親はそれ以上 のことは何もできな かった。	
99	1	2000.1.20	25		Nam Zarng 郡Kho Lam 地域	男性2人と女性 2人は、農繁期 のみ滞在する 人里はなれた 田んぼで米を 作って生活し ていた。	第66歩兵大隊(Htun Mya大尉指 揮)の兵士70人か ら80人	強かんと殴打、殺 害。		男女1人ずつが銃で 撃たれ、殺害され、残 りの男女は90日間捕 らえられた。2人は殴 られ、拷問を受け、そ して女性は繰り返し強 かんされた。彼女は 解放されてから5日後 に死亡した。
100	1	2000.1.22	18		Kun Hing町 出身	町から約3マイ ル離れた Nawng Haiと 呼ばれる土地 の田んぼで働 いていた。	第246歩兵大隊(Aung Moe大尉指 揮)の兵士50人か ら60人	繰り返し強かんの 後、殴打。	この軍政府部隊で ポーターとして働いて いた被害者のいとこの 男性が彼女を助ける ために間に入ろうとし たため殴られ、精神的	被害者の父親と兄弟 も、シヤンの反政府軍 兵士を助けたというこ とで責められ、拷問の 末、撲殺された。

									に不安定になり、後に死亡。	
101	19	2000.1.27	21歳以上	15歳以上	Murng Pan 郡Ho Phaai Long村落区 Ho Phaai Long村	この村の住人たちは、他地域の村へ強制移住をさせられた。	第520軽歩兵大隊 (Than Maung大尉指揮)の兵士70人から80人	逮捕と略奪、強かん。		女性たちは彼女らの夫が逃げ去ったあとに強かんされた。
102	2	2000.2.10			Ta-Khi-Lae 郡Murng Laen村落区 San Long Lao Lee村	少女たちは自分たちの村からほんの少し出たところで、自生の野菜を採集していた。	第316軽歩兵大隊 (Naing Lin指揮官指揮)の兵士12人	強かん。		被害者たちは近くの農作業小屋へ連れて行かれ、2人ともNaing Linとその部下数名によって強かんされた。
103	2	2000.2.23	18歳2人		Murng Yawng郡 Wan Tap村落区 Ta Khoi村	被害者たちはTa Khoi村近くの川で魚を捕っていた。	第334軽歩兵大隊の兵士3人	強かんし、その後10チャットを与えるという行為で自尊心を傷つけた。		兵士たちは女性たちを川の中でつかまえ、川岸に連れ出し、そこで強かんした。
104	2	2000.3.6	18	17	Kaeng Tung 郡Nawng Kwaang村落区 Yaang Khum Mu 村	被害者たちは村から少し離れたNam Yaang川の岸沿いで、自生の野菜を探していた。	第314軽歩兵大隊 (Hla Htwe中尉指揮)の兵士3人	川岸で繰り返し強かんし、被害者たちの処女性を奪った。そして犯行後は素早くその場を立ち去った。	被害者たちの両親は、地域の責任者たちに訴えたが、誰もこの事件を地域の軍当局へ持ち込むだけの勇気がなかった。	兵士たちにつかまえられた少女らは、恐怖に叫び、逃れようともがいたが、村は叫び声が届くにはあまりに遠く、兵士たちは強すぎた。

105	3	2000.3.13	18、21、24		Murng Sart 郡Waeng Nur村落区 Pa Sak村	村から西へ2マイルの道路近くの森の中で、女性たちは薪を集めていた。	第359軽歩兵大隊 (Htun Kyaw大尉指揮)の兵士80人	強かんと毆殺。		兵士たちは女性たちを捕まえ、尋問した。しばらくすると、大尉が最年少の少女を近くの茂みに連れ込み、強かんした。その後この大尉は、自分の部下たちに女性全員を渡し、強かんするようにと言った。兵士たちは被害者たちが死ぬまで棒で毆打した。
106	3	2000.3.26	19、22	15	Kae See町の再定住地へ強制移住させられた Kae See郡 Wan Khem 村落区Wan Khem村	女性たちは町の南数マイル [MSOffice2] の森で、自生の野菜を探していた。	第514軽歩兵大隊 第3中隊(Than Myint大尉、Aung Hla中尉、Pa Thein軍曹指揮)の兵士30人。	3人の上官が女性たちに一昼夜にわたって強かんを加え、最後には被害者たちを自分たちの部下の兵士30人に渡した。兵士たちは女性たちを複数によって強かんし、射殺した。		兵士たちは、女性たちをシャンの反抗勢力の妻であるとして責めた。兵士たちは被害者らを縛り上げて尋問し、シャンの抵抗組織がどこにあり、誰がリーダーなのかをしゃべるように要求した。
107	1	2000.3.29			Kun Hing郡 Wan Lao村落区に強制移住させられたKung Kaaf村	Murng Ton郡 Murng Harnng 村落区Naa Kawng Mu村において、彼女は台所で1人でいた。	Naa Kawng Mu村に駐在していた Kaeng Tung本拠地の第529軽歩兵大隊第4中隊指揮官、Hla Maung大尉。	銃で脅し強かん。	彼女と村長、そして村の委員5人がこの大尉が滞在する軍の駐留地へ直行した。しかし大尉は告発を即座に否定した。	この大尉は被害女性が村で滞在していた家へやって来て調理したもち米を要求した。彼女が家に1人だと知ると、大尉は自分のピストルを彼女に向け、強かんした。

108	1	2000.4.9	19		Murng Yawng郡 Murng Yu村 落区Wan Paw村	被害者と、同じ村の他の女性2人は、自分たちの村から少し出たNam Paw川の岸沿いで、自生の野菜を採集していた。	Murng Yawng本拠地の第334軽歩兵大隊第2中隊所属の兵卒、Kyaw San。	強かん	被害者の父親と村長が軍の駐留地で第2中隊指揮官を訴えて出ようとしたとき、彼らの窮状を訴えるべく頼れる人は誰一人としていなかった。	この兵士は被害女性を捕まえ、近くの茂みへ引きずり込んだ。他の2人の女性は、恐ろしさのあまり友人を助けることができず、村へ向かって逃げた。
109	1	2000.4.11	18		Kun Hingの再定住地へ強制移住させられた Kun Pan村出身	Nam Paang川にある小さな人里はなれた島の農地の中で。	第246歩兵大隊(Htun Myint大尉指揮)の兵士100人と強制労働のポーター20人。	強かんと殺害。		心身障害を持った18歳の少女は、家族と共に水上の隠れた村で暮らしていた。兵士たちが来たとき、歩くことのできないこの障害を持つ少女を残し、全員が逃げた。それにもかかわらず、この大尉は少女をしばらく尋問し、殴打の上拷問を加えた。その後彼は自分の部下に次のように命令した。「こいつを連れて行け。俺はこんな馬鹿にこれ以上関わりたくない。」兵士たちは少女を複数で強かんした後射殺し、彼女の死体を水中に投げ入れた。

110	4	2000.4.25	19、22、24、37		Kun Hing郡 Kun Pu村落区 Kun Pu村とNawng Hai村落区 Naa Mawn村	これらの女性たちは、Kun Hing地方の人里離れた場所に隠れ住む避難民たちに、タバコや茶、塩、その他のわずかな食料品を密かに販売していた。	第246軽歩兵大隊 (Htun Myint大尉指揮)の兵士100人。	逮捕し、道案内を強要、そして5昼夜にわたり強かん。		兵士たちは被害女性たちに、彼女らが密売を行っていた避難民たちの住む秘密キャンプへ案内するよう強要した。
111	2	2000.5.2		16、17	Lai Kha郡 Wan Saang村落区 Kung Sa村と、Wan Lur村落区 Nam Tawng村出身。	2人の少女は、町から約半マイルのところにある牧草地で、雄牛に草を食べさせていた。	第55歩兵大隊第3中隊(Thein Win大尉指揮)の兵士50人から60人。	監禁と強かん、殺害。		兵士たちは少女たちを見つけ、捕らえた。彼らは少女たちと牛4頭を自分たちの駐留地へ連れ去り、6昼夜にわたって監禁した。その間、2人の少女は大尉とその部下たちによって繰り返し強かんを受けた。また、4頭の牛は食肉にするため殺された。その後、大尉は部下に命じて少女たちを射殺させた。

112	1	2000.5.16	18		Lai Kha郡 Wan Ler村 落区Bang Yong村。	強制移住地の 家で、寛いで いたときに。	第515軽歩兵大隊 第2中隊のTun Aung大尉。	銃で脅し、数時間 にわたり強かん。	被害者とその両親、そ して村長はLai Kha町 の当局へ訴えて出た。 Lai Khaの当局者は地 元駐留地の指揮官、 Maung Htwe大尉を 呼び、この事件につい て話し合った。この大 尉は被害女性に対 し、軍の駐留地へ来て 強かんの犯人を確認 するように求めた。彼 女は兵士の列を見せ られた。しかし、彼女 がTun Aung大尉をそ の中から見つけられな かった時、この駐留地 の指揮官は4人に罰 金を課した。彼女と村 の年長者1人はそれぞ れ3万チャット、村の村 長は2万チャット、そし て彼女の父親は1万5 千チャット払わなけれ ばならなかった。もし 彼らがそれぞれの罰 金を支払えなかったと したら、彼らは10年間 を刑務所で過ごさなけ ればならないところ だった。	軍隊はこの村に到着 し、強制移住地の 家々を物色し始め た。当時、村人のほと んどは農作業に出て おり、被害者は家に1 人だった。大尉は彼 女を見つけ、家に入 るよう命令した。寝室 まで来たとき、この大 尉は被害者を銃で脅 し、強かんした。彼女 は3ヵ月間床に伏せつ たが、やがて回復し た。
-----	---	-----------	----	--	--	----------------------------	----------------------------------	----------------------	---	--

113	6	2000.5	18、20、21、24、27	16	Kun Hing 郡、Ho Yarn 村落区、Sa Harng村、Naa Khaak 村、Naa tong村、Kaeng Lom Awn村、Nam Pon and Laai Ha 村	それぞれ3,000から5,000チャットの現金を持ち、Ka Li 再定住地からKung Hingの街に買い出しに行こうとしていた。	Aung Htay大尉率いる第246部隊所属兵士70~80人	略奪、強かん、集団による殺人		部隊は女性たちを停止させると道路から少し離れた場所へと連れて行き、全員から金を奪った。大尉は1人の女性を強かんし、さらに全兵士にその他の女性全員を強かんするよう指示。その後、大尉の命令により兵士は女性たちを一箇所にまとめて座らせ、射殺した。
114	1	2000.6.29	18		Lai Kha郡内	Lai Kha郡にある田で、1人で草刈をしていた。	Lai Kha基地 Myint Oo大尉率いる第515軽歩兵大隊第3中隊所属兵士80~90人	強かん、強かんを制止しようとした少女の兄弟を射殺		大尉は兵士たちに農場の周囲に立って周りを監視するよう命じ、少女には農場内にある小屋の中に入るよう指示した。大尉は少女が抵抗したり叫んだりしようとする、銃を突きつけて脅した。少女が兄弟の注意をひこうと何とか叫び声をあげたため、それに気付いた兄弟が大尉を制止しようとしたが、大尉は少女の兄弟を射殺した。

115	3	2000.7.2	36、44 、45		Larng Khur 郡Haai Kuay村落 区Ho Ha 村、 Son Oi村落 区Loi Thun 村	Nawng Long 村から離れた 人里はなれた 場所にあるわ ずかな面積の 田畑で、隠れ て米や野菜の 栽培をしてい た。	Aung Htun率いる 第99部隊第4中隊 所属兵士55~70 人 民間人ポーター 12人 案内人2人 通訳1人	穀倉の焼き払い 農民を殴打 集団による強かん 多数の者が気 絶、手足の骨折、 失明		農民たちは農場の近 くに隠し場所を持ち、 竹製の容器に精白し ていない米を入れて 密かに貯蔵してい た。彼らは家族が食 べるだけのわずかな 米をこっそりと持ち出 すことはあっても、そ れ以外の農作物を再 定住地に持ち帰るこ とはなかった。兵士た ちは農民たちが持つ ていたわずかな金さ えも奪った。
116	3	2000.7.5	18、35 、37		Wan Zid村 落区Haang Naa村から Nam Zarng 郡Kho Lam 再定住地へ 強制移住	Kha Lam地域 の農場へと強 制移住させら れた女性た ち。	Than Maung大尉 率いる第99部隊 所属兵士80人	4日間に渡り女性 たちを繰り返し強 かん		女性たちは拉致さ れ、4日間の間、全兵 士から繰り返し強かん を受けた。その中で も、最も若い少女は、 自宅に帰されてからも 数ヶ月の間は、食事 を取ることができず、 また眠ることも十分に できないといった、身 体的・精神的な不調 が続いた。

117	1	2000.7.8	40		Kun Hing郡内	再定住地へと強制移住させられた女性とその夫が、食物を売り、そのお金で米を買おうと、身を隠しながら町に向かっていた。	Kyaw Myint大尉率いる第246部隊第4中隊所属兵士35人	強かん、殴打の末、女性とその夫を殺害。		部隊は夫婦を停止させ、2人の所持品を全て押収し、尋問した。
118	2	2000.7.18	18	16	Naa Poi村落区Haang Lin村の出身で、Nam Zarng郡の再定住地へ強制移住	Nam Zarng郡の北部にある人里離れた農場で働いていた。	Htay Aung大尉率いる第66部隊第3中隊所属兵士60人	強かんし、殴打して殺害。		ポーターとガイドを連れた兵士たちが農場を取り囲み、少女たちを逮捕した。
119	1	2000.7.20		16	Murug Kerng郡 Ham Ngai 村落区Ho Pai村	農場内を歩いていた。	Than Maung大尉率いる第514軽歩兵大隊第3中隊	中を突きつけ、午前10時から午後3時までの間、少女を強かんした。	少女はこの事件のことを家族と部族長に報告した。家族は強かんを行った兵士たちが処罰されることを望んではいたが、かつて被害を訴えた人々が軍に10,000チャットの罰金を支払わされた、という事実を知っていたため、この事件のことを軍に訴えることができなかった。	大尉は少女が畑にいることに気づき、彼女を呼び止めると、農場内にある小屋に来るように命じた。

120	4	2000.8.7	25、28、33、36		<p>Kun Hing郡 Loi Keng村 落区Naa Keng村 Saai Khaao 村落区Naa Yaang村 Saai Khaao 村落区Nam Hoo村Wan Lao村落区 Naa Waai村</p>	<p>農場で働いていたが、兵士たちの軍用品を運ぶポーターとして働くよう命じられた。</p>	<p>ビルマ政府軍の兵士</p>	<p>農場で働いていた人々は約4ヶ月間、ポーターとして働かされた。その間、女性たちは頻繁に強かんを受け、またある男性は殺害された。</p>		<p>殺害された男性のポーターは脱走を試みたが失敗し、その結果他のポーターの目の前で見せしめとして殴打されたり、竹棒をむこう脛にまきつけるなどの拷問を受けた。男性の向う脛は3日間の間、膿で膨れ上がった。しかし兵士たちはその後も死ぬまで男性を殴打し続けた。</p>
-----	---	----------	-------------	--	--	---	------------------	---	--	---

121	2	2000.9.17	19、21		<p>Murng Sart 郡 Mae Nim 村落区 Pa Sak 村</p>	<p>少女たちは村から1～1.5マイル離れた森で薪を拾っていた。</p>	<p>Mung Sart 基地 第333軽歩兵大隊 所属の兵士3人 Tin Aye Mya Maung Htun Hpe</p>	<p>強かん</p>	<p>女性たちは加害者の兵士の顔や名前さえも知っていた。女性たちは強かんを受けたことを両親に打ち明け、両親はそれを部族長に相談した。しかし部族長の返答は、指揮官が被害者に対して公平な対応をすることはないだろう、というものだった。</p> <p>被害を告発したとなれば、女性たちは加害者以外の兵士たちが一列に並んでいるところで加害者を指示すよう求められ、そこに加害者がいないのを良いことに、軍隊の名誉を汚したという言いがかりをつけられて説教をされ、罰金を科されるか懲罰を科されることになる。ビルマ政府軍兵士によって行われた犯罪を告発すれば、多くの場合そのような結果に終わるということを族長は説明した。Murng Sart 郡だけでも政府軍隊によって行われた20～30の強かん事件が正当な処分が行われないま</p>	<p>兵士たちは抵抗すれば銃で撃つ、と言って女性たちを脅した。</p>
-----	---	-----------	-------	--	---	--------------------------------------	---	------------	--	-------------------------------------

									ま放置されており、その多くの事例において被害者は罰金か懲罰のいずれか、もしくは両方を科されている。	
122	1	2000.9.18	18		Kaeng Tung 郡Nawng Long村落区 Wan Nawng Nur村	Wan Lao村の家族に会いに行った帰り道、1人で人里離れた場所にいた。	Hla Htwe中尉率いる第314軽歩兵大隊所属の兵士3人	集団による強かん	少女の両親は憤慨し、村長に事件のことを訴えた。しかし村長は事件のことを深く追求すれば、少女の一家がより辛い状況に追いやられることを知っていたため、事件の解決のために前向きに対処しようとはしなかった。	3人の兵士は少女を捕らえ、すぐそばの森に連れて行って集団で強かんした。少女は強かんされている間、何度か叫び声を上げたが、その度に叩かれたり脅されたりした。
123	1	2000.9.24	21		Lai Kha郡 Wan Saang 村落区Kun Hung村	女性とその夫は田んぼで草刈りをしていた。	Aung Hpyu大尉率いる第515軽歩兵大隊所属の兵士	10日間の間女性を集団で強かんし、夫を殴打して殺害。		女性とその夫は逮捕された。その後、10日間の間、その女性は複数の士官から強かんされ、その上10日目には、10人ほどの兵士によって強かんされた。解放された時、彼女は立ち上がることもできず、村に戻るために歩き出すまでにしばらくの間がかかった。

124	2	2000.9.25	20	17	Kaeng Tung 郡Huay Koi 村落区Nam Kaang村	農場で働いて いた。	第245部隊所属の 兵士7人	集団による強かん		7人の兵士全員が、両 方の女性を複数回強 かんした。2人のうち、 年上の女性はなんと か意識を保ったが、 年下の女性は完全に 意識を失ってしまった ため、年上の女性が よろめきながらもなん とか村に戻り、両親に 事件のことを報告し た。それを聞いた両 親と親戚の人々が年 下の女性を探して農 場に着いたとき、まだ その少女は意識がな かった。
-----	---	-----------	----	----	---	---------------	-------------------	----------	--	---

125	3	2000.10.6	18、18、19		<p>Murng Yawng郡 Wan Maan 村落区Sali Mon村</p>	<p>村の近くにある森へ野生の野菜を採りに出掛けた際に、小川で水浴びをしていた。</p>	<p>Murn Yawng基地 第334軽歩兵大隊 所属の兵士12人</p>	<p>裸のまま立ち上がることを強要され、侮辱された。</p>	<p>少女たちは腰くらいまでの深さのある小川で水浴びをしていた。兵士たちは小川の側にやってくると、少女たちに立ち上がって土手の方に近づいてくるように命じ、銃口を少女たちに向けて従わなければ撃つ、と脅した。少女たちは怯えて兵士たちの指示に従って土手に向かったが、水の深さが膝くらいになったとき、兵士たちは少女たちのことを笑い始めた。恥ずかしさのあまり、少女たちはひざくらいの深さの水へと体をしずめ、うずくまるようにして体を隠して泣きだした。しかし兵士たちは再び銃口を向けて立ち上がることを命じた。少女たちが再度立ち上がると、兵士たちは手を叩いてそれを笑った。兵士たちはこれを5～6回繰り返し、水浴びをするために村からやってきた他の女性たちを見るとようやく</p>
-----	---	-----------	----------	--	---	--	--	--------------------------------	--

										それをやめて去っていった。
126	1	2000.10.27	30		Yawn Hwe 郡Kyak Teng村落区Loi Sak村	町の市場から自転車に乗って村に戻る途中、人里はなれた場所にいた。	Kyawk Teng村落区のPao 武装集団が後援する第2中隊指揮官補佐Khun Gyi	強かん	女性とその両親は事件のことを1人で部族長に訴えた。部族長は事件の解決のためなら、どんなことでもやろうと言いつつも、実際には何もしてくれなかった。	加害者の男は1人で車を運転していた。彼は車を止めて女性を呼び止めると、そのまま女性を道端の藪の中へと引っ張って行き、叫んだり抵抗したりすれば撃つ、と言って銃を女性に向けて脅した。強かんのあと、茂みの中で泣いている女性を残して、男は車を運転して去っていった。
127	2	2000.11.4	20、22		Loi Lem郡Pa Laai村落区Som Khawn村出身で、Pang Longの町にある再定住地に強制移住	Loi Lem郡にある農場で、2人で米の脱穀をしていた。	Pang Long基地Hla Thaung指揮官率いる第513軽歩兵大隊所属の兵士45人	女性たちが立ち上がることができなくなるまで、繰り返し強かん		
128	2	2000.11.5		16	Murng Pan 郡Naa Law 村落区Ho Lin村	Ho Lin村の近くにある農場で両親と一緒に働いていた。	Hla Hpe大尉率いる第332軽歩兵大隊第3中隊所属の兵士40～45人	母親と娘を強かん 父親を殴打		兵士たちは強かんや暴力を働いただけでなく、農場に建てられた小屋から、5羽の鶏と2羽のアヒルを持ち帰っていった。

129	1	2000.12.26		15	Mung Sart 郡Waeng Nur村落区 Waeng Nur 村	村から約3マイル北あたりで父親と野菜に水をやっていた。	Kin Maung Soe率いるMung Sart拠点の第333軽歩兵大隊第4中隊の兵士15人	少女を強かんし、父親を殺害	少女と村のリーダーたちはSoe Naing Oo隊長に告発に行った。隊長は調べて被害者を助けるためにできるだけのことをすると約束したが、何の行動も起こされなかった。	兵士たちは農村に定期的に来て、欲しいだけ野菜を略奪していた。彼女の父親が文句を言うと、隊長が兵士たちに父親を連れし殺害するように命じた。少女は近くの小屋に連れて行かれ強かんされた。
130	1	2001.1.17		17	Nam Zarng 郡 Ho Ha村	父親と一緒に村から1~1.5マイル離れたところへ薪を集めに行くところだった	Aung Kyaw大尉率いる第66歩兵大隊の兵士70~80人	少女を強かんし、父親を殺害		軍隊は二人を止めて取調べをしたあと父親を殴り殺した。大尉は少女を強かんして解放するまでの2日間、連れまわした。
131	1	2001.1.19			Murug Nai 郡 Kaeng Tawng村落区 Ho Ha村	村の自宅にいるときに	Nam Zarngを拠点とするTim Myint指揮官率いる第66歩兵大隊第2中隊の軍隊60~70人	彼女を強かん、夫を殴り殺して家を荒らした		軍隊はHo Ha村にやってきて、全ての家を捜索した。その内の一軒で、家の中にいた夫を殴り殺しその妻を強かんした。そしてありったけの金や貴重品など、ほしいものを持ち去った。その中には服、家事道具、ニワトリ、ブタ、やかんがあった。

132	1	2001.1.24		14	Murng Nai 郡 Ton Hoong 村落区にあるTon Hoong村強制移住地	Ton Hoongから北西に離れたところにある古い農場で、野菜を収穫しているときに	Ton Hoong強制移住地に駐留するZaw Thein大尉率いる第246歩兵大隊第4中隊の兵士45～50人	少女を強かんし、その父親と兄を殴り殺した	強制移住地にもどってしばらくして、彼女は村の長老や村長にその出来事を報告した。父親と兄の遺体は発見されて埋葬された。しかしさらなる虐待をおそれて誰もそれ以上のことをしようとしなかった。	軍隊は父親と兄をつるしあげ、尋問し、拷問した。ゆくゆくは棒で殴りつけ、殺した。大尉は少女を強かんし、3日間軍隊とともに連れ歩いた
133	1	2001.1	18		Kaeng Tawung の Market地域	キャンプに必要な食料をかいにいくときに	San Win Po上官と第246歩兵大隊 Kun Hingを本拠地にした10人の兵士	彼女を捕虜にして4日間にわたり集団強かんした	彼女はその出来事を村長に報告した。そして知り合いの看護師によって診断を受けた。彼女の安全を心配した村長は、「行ける場所があれば行ったほうがいい。もう二度と兵士たちに会ってはならない。」と言った。彼女は毎晩違う知り合いの家に泊まって移動を続けた。両親は彼女の安全を心配した。しかし軍隊の仕返しをおそれて思い切って不平を言うことはできなかった。開放から10日後、母親は彼女をタイへ行かせた。	彼女が店主だったとき、安価で商品用の物を買うために軍キャンプに呼ばれた。軍の店に行くと、San Win Poと10人の兵士に捕らえられた。彼女の両親は彼女が解放されるまでの4日間、さまざまな場所を探し回った。

134	1	2001.2.23	19		Kaeng Tung 郡Huay Koi 村落区 Nawng Hoi 村	村近くの農場 で野菜を収穫 しているところ だった	Kyi Htun中尉率 いる第226歩兵大 隊の兵士20人	強かん	彼女とその父と村長 は、Huay Koi 地域の ラフ民族による市民軍 の長と会った。そして 郡の権威者に不平を 申し立てた。郡の役人 はその事件を聞き、容 疑者を裁判に連れてく るように適切な行動を とるとして村民を慰め た。しかし、何もおこな われなかった。	Kyi Htun中尉は彼女 が一人にいるのがわ かると、彼の軍隊には 次の村に先に行くよう に指示をした。彼女 には銃で脅しながら 農場の小屋に入るよ うに命令をした。彼女 がもがいたり叫んだり しないようにするため の脅しとして中尉は 銃を使った。
135	1	2001.2	24		Ta Khi Laek 郡Nam Phung村落 区Wan Pa Khae村	村から歩いて1 時間半ほどの ところにある農 場で、1人で作 業中に	Ta Khi Laek郡に 拠点をおく第359 軽歩兵大隊の兵 士7人	強かんし、銃で撃 つとおどした	彼女の夫はこの事件 の2年前、SPDC兵の ために物を運んでい るとき、彼らに殴り殺さ れている。残った彼女 は、一人で農場で働 いていた。足が悪く走 ることができなかつ た。彼女の叫び声を 聞きつけた村人が急 いで助けに来た。村 人に気づくと、兵士は 攻撃をやめてその場 を離れた。彼女にイン タビューをした時、兵 士の強かんによって 妊娠3ヶ月だった。	

136	1	2001.3.29	18		Larng Kher 郡、Nong Long村落 区、Nong Tao村	農場で働いて いるときに	第525軽歩兵大隊 第4中隊Soe Nyint大尉	強かん	彼女の叔父が村長や 長老に不平を申し出 て行った。シヤン警察 の署長は、村人たちが の事件を報告しないよ うに言った。そして報 告したとしてもSoe Nyint 大尉には何の 影響も及ぼさないだろ うと言った。	彼女は泣き叫んだ が、大尉は最後まで 彼女を解放しなかつ た。強かん後、彼女 は恥ずかしさ、怒り、 そして悲しみを感じ た。彼女は国境を超 え、タイへ移った。
137	1	2001.3.30		17	Murng Nai 郡Kun Mong村落 区Kun Kawk村	叔父と、木や 竹を牛車では こんでいるとき に	Nam Zarngを本 拠地にするSoe Win大尉率いる第 66歩兵大隊の兵 士13～14人	輪かん。彼女の 叔父はロープで つるしあげられ た。牛は食肉用 に殺された。		大尉を含む全兵士に 数時間にわたって輪 かんされた。

138	1	2001.3		5	Kaeng Tawng郡Ba Sar 村	村にある自分の家に一人で見守る時に	Ba Sar村にある新キャンプ Meikhtila and Myinchanを本拠地にする政府軍兵士1人	彼女の手と足をロープでしばり強かんした。	彼女の両親は村の頭に不平を言ったが、子供たちの安全を心配していた。彼らはしばしば一日中家を留守にしていたので、軍隊が家を荒らして壊すかもしれないと恐れていた。	両親は5歳の彼女と12歳の姉を残し、農場へ行っていた。姉は映画に行っており5歳の妹は1人で家にいた。7時に1人の兵士が家に入ってきた。姉が映画から戻ると、彼女は縛られ性器を血まみれにして泣いていた。その晩、隣人がきて彼女を病院に連れて行った。彼女は起こったことを医者に話し、看護師は彼女の裂けた膣を縫い合わせた。医者は薬を与え、証拠の写真を撮った。 <u>医者と看護師はこのできごとを報告するだろうと言った。</u> 両親が家を空けていなければ強かんされることはなかったという思いから村人の多くがこの事件で両親を責めた。
-----	---	--------	--	---	----------------------	-------------------	--	----------------------	---	--

139	5	2001.3			Nam Zarng 郡Kho Lam 村	軍キャンプで 強制労働者として従事しているときに	Kho Lam村に在外基地キャンプで駐留している Nyunt Maung大尉率いる第66歩兵大隊兵士35～40人	女性労働者たちを強かん		軍隊は夜にたびたび村にきており。軍キャンプで強制労働者として使うために村民10人(男5人、女5人)を徴用した。 <u>かつてそのキャンプで、男女が別々の宿舎に分けられ、女性たちは大尉にしばしば強かんされた。</u>
140	1	2001.4.16	19		Nam Zarng 郡Wan Nong Koong Mong村落 ☒Koong Sar村	村にある自分の家に一人でいるときに	第248軽歩兵大隊 第3中隊Hla Phey大尉	強かんし、彼女の金のネックレスを奪った。	恥ずかしさと、ビルマ人兵士たちの仕返しの恐れから、権威者に不平をいうことができなかった。	<u>大尉は、一人の兵士のために彼女の家をさがす必要があったと</u> いった。彼は寝室に彼女を連れ込み強かんしたあと、貴重品を奪った。彼女はそのことを人にかくした。体重はへり、ゆくゆくは病気になってしまった。ひどい黄疸だった。彼女の身内は援助して気を配っていたが婚約者は彼女に会いにこようとしなかった。強かんの結果、婚約は破棄された。

141	1	2001.4.27	19		Murug Pan 郡Ho Lin村 落区Naa Ing村	彼女と男性3人 が農場に行く 途中で	Kyaw Win大尉率 いる第5中隊第 332軽歩兵大隊の 兵士35～40人	少女を強かんし、 3人の男の意識 がなくなるまで何 回もぶちのめし た。そのあと4人 を監禁し、解放の ために金をゆすり とった。		軍は村民たちに米を シャン兵に供給しろと せまった。
142	1	2001.4.30	50		Lai-Kha町 の3マイル 北にあるTa Mark Laang 村	家に一人でい るときに	Khin Soe大尉率 いる 第55歩兵大 隊第2中隊の兵士 11人	集団強かん		軍はその村にきてブ タ、ニワトリを家々から 奪った。その女性の 家では力づくでニワト リやたくさんの野菜を 奪った。彼女が家に 一人でいることがわか ると、すべての兵士が 彼女を強かんした。
143	40	2001.4			Mung Nai郡 にあるTon Hung村へ 向かう Murug Pan 村落区の Mai Nyawng Khongkhan g村	彼女たちは、 郡にある道路 建設のための 民間人労働者 として徴用され ていた	第332軽歩兵大隊 と第520軽歩兵大 隊の兵士	夜に女性労働者 を強かん		男女含めて約80人の 村民が労働場所に寝 泊りし、次の交代まで に一度 に9～10日働 かなければならな かった。夜、女性たち は男から離れさせら れ、銃口をつきつけら れ選出され兵士た ちに強かんされた。そ の労働所でほとん どの女性がこの方法で 強かんされた。

144	1	2001.4		12	Kaeng Tung 郡にある Ton Hoong 村	友人と一緒に 村へ戻る道を 歩いているとき に	Kaeng Tawngに ある新支部の Meikhtila and Myinchan基地第 99歩兵大隊の兵 士1名	強かん未遂	家族と村長は軍に不 平を言わなかった。仕 返しを恐れたのであ る。過去にも強かんさ れた者がいた。不平を 言いに行くと罰金(ニ ワトリ10羽とバケツ一 杯の油)を課せられ た。	彼女は赤ん坊のころ から目が悪かったの でありよく見えな かった。寺に行く道 で、彼女は村の年上 の人と歩いていた。帰 り道は友人と一緒に だった。一人の兵士 が彼女らを見つけ、 彼女を捕まえて強か んしようとした。友人 は逃げたが彼女は目 が悪かったので遠く に走っていけなかつ た。そのとき、自転車 に乗った女性が通り 過ぎた。兵士はその 女性が見ていることに 気づくと彼女を離し た。彼女の顔は兵士 が加えた一撃できず つけられ跡がのこつ た。体はずきずき痛ん だ。村長と村民は医 学治療をうけさせるた めにKaeng Tunの病 院へ送った。医者と 看護師は証拠のため 彼女の傷を写真に 撮った。村民の多くは 年配者がいないのに Ton Hoong村に帰っ てくるなどばかげてい るとして彼女のことを 責めた。
-----	---	--------	--	----	--------------------------------------	----------------------------------	---	-------	--	---

145	1	2001.5.1	18		Nong Kor郡 Wan Zad 村落区 Ke See村	村にある自宅 にいた。	第424軽歩兵大隊 第5中隊のSoe Phue大尉	強かんされた。	彼女の父親と酋長が Ke See村に配置され ている第424軽歩兵大 隊の指揮をとっている Thung Zaw大尉を訴 えたが、彼女以外に 目撃者がいなかった ため、大尉は自分は 何もしていないと言っ た。	
146	1	2001.5.4	18		Naa Kawng Mu郡 Mung Ton 村	村にある自宅 にいた。	Mung Phyak基 地にある第503軽 歩兵大隊第4中隊 のThaung Sein大 尉	打たれ、地面に 引きずられ、銃を 突きつけられなが ら強かんされた。	事件の後すぐに、軍 隊は村を去ってしまっ たので彼女は自分の 苦しみをどうすることも できなかった。	彼女の夫は市民軍 の一員だった。彼 は警備の当番で外 出していた。彼女 が抵抗してなんと か2、3回叫んだに も関わらず、彼女 の自宅にやってくる 勇気のある者は いなかった。

147	1	2001.5.18	21		Nam Kat郡 Nar Boi村 落区 Nam Zarng村	命じられて軍 用キャンプに 警衛所の掃除 をしにやって来 ていた。	第66歩兵大隊の Than Maung Tun 大尉	平手打ちされ、強 かんされた。	部族の村長、強かんさ れた女性とその夫がそ ろって大尉に会いに 来た。「昨日あなたは 部屋で私を強かんしま した」。そう言い、彼女 は大尉を訴えたところ 、大尉は次のように 答えた。「もし私が君 に乱暴したなら、どう して助けを呼ばなかつ た。もしそうなら君と 一緒にやってきた他の 14人の女性はどうし てもがいている気配や音 を聞かなかったの だ」。他の14人の女性 の方を向き、大尉は尋 ねた。「誰か私がこの 女性を強かんするの を見たり聞いたりするも のはいるか。もしいた ら手を挙げたまえ」。 手を挙げる者はいな かった。なぜなら誰も 自分の目で強かんし ている現場を見ていな かったからだ。それに 基づいて、大尉は自 分の面子を失わせた として彼女に15,000 チャットの罰金を課し た。	地元キャンプの指 揮官は、15人の女 性に命じて軍用 キャンプにある警 衛所を掃除させる ために、キャンプ へ来させた。大尉 は14人の女性に命 じ、他の大尉達の 部屋を掃除させ、 彼女には自分の部 屋を掃除させた。 大尉は彼女の後に ついて行き、背後 でドアを閉め、不 意につかむと彼女 は叫んだ。「大尉 が私に乱暴してい る！」事件の後、彼 女は悲しみ、恥じ 入り、恐怖におの のいた。無気力に なり、何も口にす る気がしなかった。 彼女の夫や親戚は 理解を示して彼女 を支え、彼女と夫 は共に住み続け ている。事件の2、3 ヶ月後、彼女は夫と タイへ移り住んだ。
-----	---	-----------	----	--	--	---	----------------------------------	--------------------	---	--

148	1	2001.6.2		17	Paang Sa郡 Naa Loi村 落区 Lai-Kha村	豚にえさを与えるために、村の外にある田んぼの端に沿って、野菜を集めている所だった。	第64歩兵大隊第4中隊のChit Htwe指揮官	強かんされた。	彼女とその父親、そして村の長が第333軽歩兵大隊基地の大隊指揮官であるAung Kyawを訴えた。強かんした人物を見たとき、識別できるかどうか彼女は聞かれた。彼女ができると答え、指揮官は軍隊が朝の検査のために準備するので、次の日に再び来るよう3人に命じた。翌日の朝、彼ら3人が他の13人の村人たちに付き添われて軍用基地へ行くと、指揮官はおおよそ250人の兵士達の列の中から彼女を強かんした者を指すよう命じた。彼女はChit Htweを見つけられなかった。すると指揮官はここにいるのがキャンプにいる兵士全てだと言い、彼の指揮下にある一人の兵士の名誉を傷つけようとしたとして彼女を告訴した。告訴を申し立てた3人の村人はそれぞれ30,000チャットKyat支払うことを余儀なくされ、彼らに付き添った13人は各々20,000	Chit Htweが彼女を強かんしている間、娘を心配して後を追ってきた父親は現場を目撃し、助けを求めて叫んだ。Chit Htweはすぐに逃げてしまった。
-----	---	----------	--	----	---	---	--------------------------	---------	--	--

									チャット支払わなければならなかった。	
149	1	2001.6.7	62		Paang Ken 郡 Pha Khe村落区 Murng Ton村	家族が全員働 きに出ている 時、一人で自 宅にいた。	第225歩兵大隊第 4中隊のHtun Myint大尉	強かんされた。		軍隊は一晩休憩を とるために、Paang Ken郡に滞在し た。Htun Myint大 尉は自分のために 一軒の家を選び、 一夜を過ごした。 その女性の他に誰 もいなかったとき、 大尉は彼女を強か んし、彼女が叫ぼ うとしても片方の手 で口をふさいだ。 軍隊が村を離れる まで、彼女は誰に も言おうとはしな かった。
150	1	2001.6.8			Naa Kawng Mu郡 Murng Ton 村	夫は地元にあ る軍用キャンプ で徴兵として働 かされていた ので、彼女は 自宅に一人で いた。	第333系歩兵大隊 第4中隊(Win Zaw大尉)所属の 兵士5人	集団で強かんさ れた。	夫が強制労働から 戻ったので、彼女、 夫、村の長並びに自 治体の長が地元の軍 用キャンプで指揮を とっている第65軽歩兵 大隊第4中隊のMyint Lwin大尉に訴えを申 し出た。大尉は事情を 聞き、強かんした軍の 上官に彼らの訴えを 伝えると言ったが、何 の対策もとられなかつ た。	大尉とその軍隊は 村で報告されてい ない泊り客を次々 に調べ続けた。大 尉は他の兵士達が 家の周りに立って 見張りをしている間 に、銃でおどして 彼女を強かんし た。その後、他の5 人の兵士も彼女を 集団で強かんし た。

151	108人以下	2001.6.13		8歳以下	Murng Kerng村の郊外にある強制移住場所	弾薬、米そしてその他の食料を運ぶための強制労働にかかされていた。	大隊のHla Myint指揮のもと、第514軽歩兵大隊(Thein Maung大尉)所属の兵士達	強かんされ、16日間無報酬で軍に仕えさせられた。		軍は家から大人の男性全員を連行した。男性がいない所では、女性や子供を連行した。全部で男性142人、女性と子供が108人にのぼった。
152	1	2001.7.4	27		Murng Nai 郡Nong Hee村落区 Ter Hong 村	強制移住した場所にある自宅に一人でいた。	Kun Hing基地の第524軽歩兵大隊第3中隊のTun Oo大尉	夫に命じて軍隊のために荷物を運ばせ、朝の10時から午後の3時まで彼女を強かんした。	夫は村の酋長と長老に事件について報告した。事情を聞くと、「目撃者は彼女だけだった。事件を報告したいが、大尉に逆らうことになる。我々は勝てない」と言った。軍に訴えることはしないと決断した。	大尉は銃で彼女を脅し、寝室まで引きずっていき強かんした。後に、夫は彼女を「ビルマ人の残り物」と呼んで非難した。夫と妻それぞれの家族も仲裁し、起こったことについて議論を重ね、彼女が自ら大尉と性行為を行ったのではなく、むしろ銃で脅されながら強かんされたことを説明した。8月、彼女は夫とタイへ移り住んだ。

153	2	2001.7.11	24、30		<p>Wan Phui郡 Kho Lam 村落区 Nam Zarng 村</p>	<p>村から約3マイル南西にある稲作農場の小屋の中</p>	<p>第247歩兵大隊(Mya Htoo大尉)所属の兵士50人</p>	<p>集団で強かんされ、むちで打ち付けられて死亡した。</p>	<p>軍は農家がシャン族の兵士に米を与えて援助していると疑いを持った。指揮官はWan Phui郡の長に命じて、取調べのためにKho Lam村落区の軍用キャンプまで5人の農家を向かわせた。しばらくして農場者は釈放され、皆無事に帰宅した。彼らが再び田んぼに働きに出た時、軍は彼らを逮捕したのである。3人の男性はつながれて尋問を受け、拷問にかけられ、ムチ打ちにされて死んだ。2人の女性は農場の小屋へ連れて行かれ、軍によって集団的強かんを受けた後、ムチで打たれて死亡した。</p>
-----	---	-----------	-------	--	--	-------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------	--

154	1	2001.7.14		16	Murng Tum 郡 Murng Sart村	村の南にある 野原で牧草を 食べている牛 を捜していた。	第333軽歩兵大隊 第4中隊のNaing Oo大尉	強かんされ、気を 失うまでムチで打 たれた。		大尉は彼女に拳銃 を向け、手で彼女 を引きずりながら近 くのやぶの中へ連 れて行った。解放 した時彼女は泣き 出し、再び叫んだ ので、大尉が拳銃 の台尻で頭を殴る と彼女は地面に倒 れた。それから意 識を失うまで全身 をムチで打ちつけ たのだ。彼女の父 親が芝生の中に気 を失っているところ を発見した。
155	1	2001.7.16		16	Nam Zarng 郡Wan Nong Koong Mong村落 区 Koong Sar村	村に向かう途 中だった。	Nam Zarng基地 にある第66歩兵 大隊第2中隊の Zaw Hlaing大尉	強かんされた。		強かんされてから9 、10日後、彼女は 病気になった。憂 鬱になり、無気力 で食欲が全くな かった。親戚が Naw Zarng病院へ 彼女を連れて行 き、そこに5日間入 院した。病院に5日 間入院してもまだ よくならなかったの で、彼女の家族が Loi Lem病院へ連 れて行った。さらに 10日間治療を受 け、治療費として

										17,000チャット払った後、彼女は良くなり自宅へ戻った。
156	3	2001.7.23			Pang Kae Tu郡 Pang Kae Tu村落区 Murng Kerng村	稲を植えるために田んぼへ行く途中、近くにある軍用基地の警衛所へ連行された。	第383軽歩兵大隊所属の兵士7、8人	集団で強かんされた。		シャン族の農家にとって、朝早く働き始めることは週間なので、彼らは朝早くに家を出ていた。田んぼへの道は、村と田んぼの間にある第383軽歩兵大隊の基地に隣接しているので、3人の女性が基地の近くを通ったとき、兵士全員に集団で強かんされた。
157	3	2001.8.11-17	18、20、28		Wan Long 郡 Ham Ngaai村落区 Murng Kerng村	Salween川にかかっている Ta Saang橋の検問所で止められた。	第225歩兵大隊(Myint Lwin大尉)所属の兵士21人	監禁されて強かんされた。		軍が村人の所有物を調べて質問している間、大尉は村人の中から3人の女性を選んだ。彼は一度に1人ずつ寝室へ連れて行き強かんした。3人の女性を全て強かんした後、彼は親しい部下に女性を強かんさせ、その後検問所で任務についている21人の兵

										士全員にも女性を強かんさせた。
158	1	2001.8.17			Kae See郡 Wan Kung 村Wan Zin 村	村はチーク材を3トン提供するよう軍から命令されていた	Tin Maung Htoo 少佐率いる第516 軽歩兵大隊の兵士37人	強かん		軍にチーク材を用意させられている間ずっと強かんされた
159	1	2001.8.30	21		Murung Khark郡 Nam Saw村 落区Nam kaa Long村	Murung Khark 郡Paang Mu村 近くのNam Luay川のほとりで友達を待って一人で座っていた	第227歩兵大隊所属の兵士3人	強かんされ、殴打され意識を失い、金銭を盗られた	後になって彼女の身内が郡の軍当局に訴えたが、何の行動も起きなかった	3人の兵士がどこからともなく現れ、彼女を茂みに引き込んだ。1人ずつ強かんされている間、他の2人は彼女を押さえ込み、口をふさいでいた。兵士達は彼女から600チャットを盗っていった。

160	1	2004.8.		16	Kun Hing郡 Keng Lom 村	夫と一緒に畑 にとどまり、廃 村の近くの畑 に隠れていた	第246軽歩兵大隊 所属の兵士	彼女の夫は殴打 され、拷問を受 け、尋問された。 彼女も棒で叩か れ銃で脅されて、 鼻血が出るまで 銃を顔や体に押 し付けられた。彼 女は妊娠7ヶ月で あったが、次々と 強かんされた。		兵士は彼女の夫を 手ぬぐいで目隠し し、木に縛り付け た。10人の兵士全 員が彼女を強かん した。待っている時 は小屋の外に立っ て、彼女が悲鳴や 叫び声をあげたら 笑っていた。彼等 は妻に何が起きて いるのか全て聞こ える距離に彼女の 夫を縛りつけ、痛 みで泣き叫ぶのを 聞かせた。彼等は 午前8時から午後4 時まで彼女を強か んし、彼女の夫を ポーターとして連 れて行ってしまっ た。夫は未だに 帰ってこない。
161	1	2001.8		13	Kun Hing郡 Nam Kham 村	森の中で友達 と野菜を集め ていた	Kun Hing拠点の 第246軽歩兵大隊 所属の大尉	兵士に捕まって 強かんされ、翌朝 解放された。		彼女の友達は逃亡 し、安全なところま で逃げた。しかし、 彼女は大尉に捕ま り強かんされ、そし て翌朝早くにNar Khue村の近くで解 放された。

162	1	2001.9.11		16	Murng Pan 郡Nong Long村落区 Loi Noi村	強制移住地の 家に一人でい た	第520軽歩兵大隊 第4中隊のKyaw Won大尉	強かんし、彼女の 顔を平手打ちし、 ひどく傷つけた。		鶏を買いたいと 言って大尉は強制 移住地に入ってきた。 事件の後、彼 女は当局には訴え なかったが、家族 には打ち明けた。 後に彼女は親族と 一緒に国境を越 え、タイに行った。
163	1	2001.9.16	19		Kaeng Tung 郡Murng Khawn村落 区Wan Lawn村	彼女の村から かなり西に離 れた川で、一 人で服を洗っ ていた	Loi Muay拠点の 第244歩兵大隊所 属の兵士3人	集団による強かん		彼女は膝の深さま で川に入って服を 洗濯していた。兵 士は水の外に彼女 を引っ張り出し、服 を全て川に流して しまった。村に戻 った時に彼女は両親 に泣いて事件の事 をしゃべったが、彼 等が訴えることの できる所は無かつ た。
164	2	2001.9.22	24、25		Murng Yawng郡 Pa Hok村落 区 Pa Pek 村	村の近くの森 でタケノコを集 めていた	第334軽歩兵大隊 所属の兵士7人	強かん	女性と彼女の村の村 長は武装集団の長に 訴えたが、あえて事件 を取り上げる者は誰も いなかった。	兵士達は強かんの 間、容赦なく彼女 達の服を引き裂い た。兵士達は横た わった彼女達と引 き裂かれた服をそ のままに立ち去っ た。

165	1	2001.10.1	20		もとはKun Hing郡 Kwng Lom 村落区 Keng Lom 村で、Ka Li 強制移住地に移動	強制移住地から約1マイル離れた稲作地の端で野草を集めていた	第524軽歩兵大隊のSoe Win Hpyu 大尉	強かん		兵士は彼女にシャンの兵士が道を通ったかどうか大声で聞いた。彼女が見てないと言うと、兵士は彼女を近くに来させ、銃を向けた。彼女を解放する際彼は、もしこの事を誰かに言えば彼女だけでなく彼女の両親も殺すと警告した。
166	1	2001.10.9	23		Murng Yawng郡 Wan Dap村落区Wan Thaang村	夫と幾人かの親しい村人と町市場に行き、市場から帰る途中、町と村の間の人里離れた場所で	第334軽歩兵大隊所属の兵士3人	彼女を強かんし、夫を殴打した。	彼女達は村長と村の武装集団の長に訴えた。武装集団の長はMurng Yawng郡の軍当局に訴えたが、何の行動も起きなかった。	兵士達は、夫を刺激して口出しさせるために所持品検査の間夫の目の前で妻の下腹部をわざと繰り返し触れた。そして、兵士の一人が夫を地面に打ち倒し、彼に動いたら撃ち殺すと言った。兵士達の指揮官と思われる男が近くの茂みに妻を引き込み、強かんした。そして彼等は大声で笑い、去っていった。

167	2	2001.10.19	18、19		Ta-Khi-Lae k郡 Murng Hai村落区 Mae Hai村	村からいくらか 離れたNam Hai川で魚を 獲っていた	Murng Phyak 拠点の第221歩兵大 隊所属の兵士25 人	彼女達が意識を 失うまで、集団に より強かんされた	彼女達の両親は村の 長老と村長に事件を 報告したが、あえて事 件のことを引き受ける 者は誰もいなかった。	兵士達は彼女達に 川岸まで来るよう 命令した。彼女達 が岸に着いた途端 に彼等は何も言わ ずに集団により強 かんを行った。彼 女達が意識を取り 戻した時、すでに ほぼ夜になっていた。
-----	---	------------	-------	--	--	---------------------------------------	--	---------------------------------	--	--

168	1	2001.10.24	19		Lai Kha郡 Nong Kaw 村落区 Kang Oon 村	強制移住地の 家に一人でい た	第515軽歩兵大隊 第3中隊の兵士と Soe Soe Aung大 尉	彼女の夫は軍の ために強制労働 を強いられてい た。大尉は彼女 の顔を叩き、銃で 脅して彼女を強 かんした。	夫が強制労働から 帰ってから、彼女と 夫、村長、長老と13人 の村人で一緒になっ て地元の第515軽歩兵 大隊のキャンプに行 き、Than Tun大尉と話 し合った。大尉は「Soe Soe Aung大尉はここ 19から20日間地方の 巡回に行ってしまった ている。彼はまだ戻っ ていない。」と言った。彼 女は顔を見れば簡単 に分かると主張したた め、キャンプの指揮官 は兵士達を一行に整 列させた。146人の兵 士が列に並んでいた が、Soe Soe Aung大 尉はそこにはいなかった。 彼女が犯人を見 つけられなかったの で、Than Tun大尉は 彼女を軍の拘置所に 送った。村の長老がも う一度Than Tun大尉 に会いに行くまで、彼 女はそこに24時間居さ せられた。長老は大尉 に謝罪し、彼女の解放 を頼んだ。大尉は面 子を保つためにとい うことで20,000Kyatを要 求してきた。	大尉は彼女に家の 捜索を求めてき た。家の中で彼 は、彼女を横たわ らせ、頭に銃を向 けた。彼女は解放 されたあと気分が 悪くなった。頭痛と 目まいがし、Lai Kha町の病院に5 回行かなくてはな らなかった。やっ つとの事で彼女は回復 した。
-----	---	------------	----	--	--	-----------------------	---	--	--	--

169	1	2001.11.6	32		Murng Kerng郡 Wan Lone 村落区 Loi Sim村	家、ジャングル、廃村と軍のキャンプで	第514軽歩兵大隊 の上官 Thein MyintとNyan Lin	顔を叩かれ、軍に連れ去られた。彼女は合計6日6晩の間継続的に強かんされた。		兵士達はその地域を巡回していたので、彼女の夫は逃げ出した。兵士達は始めジャングルに2晩、Koong Benの廃村に3晩、現地の軍キャンプに1晩の間彼女を連れ出した。この間を通し、彼女は2人の上官に強かんされた。彼女を解放する前に一人の大尉が、この事を誰かに口外したら彼女と彼女の夫を殺すぞ、と警告された。夫婦は今も一緒に住んでおり、彼女の夫は事件を理解し、兵士だけを非難している。事件の後、彼女は気分が悪くなり、Murng Kerng町の病院で7日間過ごさねばならなかった。
-----	---	-----------	----	--	--	--------------------	--	---------------------------------------	--	---

170	1	2001.11.6		17	Murng Kerng郡 Murng Khun村落 区 Wan Khom村	食糧を探している時、村の外、ジャングル、廃村、軍のキャンプで	第514軽歩兵大隊 第5中隊のKyaw Myint大尉と彼の4人の上官	6日間の間、毎晩 集団により強かん された	彼女のおじがMurng Kerngの村長に事件を報告した。彼等は第515軽歩兵大隊第3中隊のシャン人の大尉に相談しに行った。大尉は「ビルマ人の兵士は嘘をつく習慣がある。私達自身が事件を目撃していないため、彼等は誰が事件を証明できるのか訊ねてくたさるだろう。彼女は誰が強かんしたか知っているだろうが、それでも兵士達は彼女が嘘をついていると主張するだろう。あの兵士が罰せられないで欲しいので私はこの事件のことを言っていない。私はビルマ国軍の兵士ではあるが、親戚は全員シャン人であるので、起こった事について申し訳無く思っている。ただこのケースで勝つのは不可能だろう。」	兵士たちは彼女が村の外で働いているのを見かけ、連れ去った。大尉と5、6人の兵士が6日間にわたり、毎晩彼女を集団で強かんした。彼女の家族は血液検査をさせるため、彼女をMurng Kerngの病院に連れて行った。彼女の家族は事件の事を理解し、彼女を支えた。
-----	---	-----------	--	----	---	--------------------------------	--	-----------------------------	---	--

171	1	2001.11.6		14	Murng Kerng郡 Wan Phey 村落区 Nae Lein村	村の家に一人 でいた	第514軽歩兵大隊 第5中隊のKyaw Myint大尉	平手打され、強か んされた。		兵士達が村に入っ てきた時、村の男 性達はポーターに されるのを恐れて、 女性だけを残しに げ去ってしまった。 大尉が部下に家の 外に立って見張りを させ、彼女を寝 室に引っ張り込ん だ。彼女は大声で 叫んだ。兵士達が 村を去った後、 Murng Kerngの病 院で診察してもら うために彼女の姉に 連れて行っても らった。
-----	---	-----------	--	----	--	---------------	-----------------------------------	-------------------	--	--

172	1	2001.11.28	24		Murng Paeng郡 Murng Boo Long村落区 Na Lae村	自分の畑で野草を集めていた	第248歩兵大隊第3中隊のTun Yin大尉とThan Maung中尉	一人は彼女に銃を向け、もう一人が彼女を強かんした。	彼女と、夫、彼女の両親と村長でMurng Boo Long村落区基地の第3中隊を指揮するKyaw Kaeing大尉に訴えにいった。翌朝、指揮官は彼女に犯人を確認するよう言ってきた。彼女は48人の一列に並んだ兵士を見せられたが、その中にTun YinとTaung Maungを見つける事はできなかった。すると指揮官は部下に対する名誉毀損を訴え、彼女達を拘束した。解放のために彼女と村長はそれぞれ10,000チャット、彼女の夫は5,000チャット、彼女の両親はそれぞれ7,000チャットを払わなくてはならなかった。
-----	---	------------	----	--	--	---------------	-------------------------------------	---------------------------	---

173	1	2001.12.4	18		Kun Hing郡 Warn Lao村 落区 Warn Lao村	強制移住地の 家に一人でい た	第524軽歩兵大隊 第4中隊のMyint Maung Htwe大尉	平手打ちされ、強 かんされた		彼女の父親は強制 労働に行き、母と 姉妹は畑に行っ ていた。大尉は銃口 を向け、家の中で 彼女を強かんし た。彼は家族や両 親に言ったら、全 員撃ち殺すと警告 した。翌朝、母親 は医療検査を受け させるため、Kun Hingの病院に彼 女を連れて行っ た。
-----	---	-----------	----	--	---	-----------------------	---	-------------------	--	--